

1 主題名 「相手の立場で」 内容項目 B(9) 相互理解、寛容

自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。

2 教材名 「なみだ」 (東京書籍「新しい道徳2」P74～P77)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

自分の考えや意見を人に伝えることは、人間関係を築き、相互理解を深めるために欠かすことができない。人にはそれぞれものの見方や考え方があり、個性がある。そこで大切なことは、互いが相手の存在の独自性を認め、自分と異なる相手の考えや立場を尊重することである。そして、自分自身も他者もそれぞれのものの見方や考え方にとらわれ、過ちを犯しやすい人間であると深く理解することである。人を許し受け入れてとがめだてしない寛容の心をもてば、他者のよい面を積極的に認めようとすることができるだろう。

この学習を通して、人間が相互に個性や立場を尊重することが、自分の人生にとってどのような価値をもつのか考えるとともに、相手や場面が変わっても寛容の心をもち、謙虚に他に学ぶことが自らの成長に役立つことを理解できるようにすることが大切であると考えます。

(2) 生徒の実態(計34人)について

本学級は男子15人、女子19人の学級である。落ち着いた態度で授業に取り組み、半数の生徒が発表を行うことができる。体育祭や帰りの会などで少しずつ相互理解の機会を積んだことで、多くの生徒がよりよい集団を目指す言動ができる。特に、友人関係のトラブルの際は生徒自ら教師に相談して、早めに解決することがあった。

一方で、これまでのトラブルの中に、自分が本当に伝えたいことを十分伝えきれずに誤解を与えてしまう言動があった。そのため、自分の思いを言葉で表現したり、相手に確認したりすることを指導してきた。

(3) 指導観

ア 教材について

事故に巻き込まれてケガをした主人公は、その痛みとやり場のない怒りの中で、謝罪に来た加害者とその母親が見せた涙を疑ってしまう。しかし、自分の事だけ考えてしまったことを反省し、加害者の心情を思った言動をしたことを描いた教材である。主人公の気持ちの変容と加害者を思いやる場面について考えることで、相手の立場を考えることや寛容な心をもつことの尊さと難しさを感じられる教材である。

イ 研究主題との関連

本校の研究テーマは、「生徒一人一人が『達成感』を味わうことのできる授業の創造～すべての生徒が『わかった、できた』という実感がもてる授業への改革と研究・実践～」である。道徳の授業は、多様な考え方を分かち合うことで自らの価値観や生き方を見つめ直す機会となる。多様な考えを1つにまとめる必要はなく、自分が納得できる考えを見いだしていくことが達成感につながる第一歩と考える。机間指導で励ましたり、意見を重ねていく意義を語ったりすることで発表する生徒を増やし、周りに自分を表現することや認められる経験を積ませたい。

ウ 人権が尊重される授業づくりの視点

一人一人の生徒が自分の考えをもち、表現することができるように考える時間を確保する。また、心情メーターを使うことで考えたり、伝えたりするきっかけを設ける。教材を十分読み取れなかったり、自分の考えを文章に表すことに時間がかかったりする生徒がいるので、場合によっては机間指導で声をかけて考えを表現させ、認めていく。

また、立ち歩いて意見交換する活動やペア活動によって、自分の考えを他者に伝える機会を確保する。そして、お互いの考えのよさを伝えあうことを促していき、自己有用感をもたせていく。

5 本時の学習

(1) ねらい

主人公が周りを安心させようと考えようになった気持ちの変容を見ることを通して、相手の立場を理解して広い心をもって接するよさを考え、自己の向上に努めようとする心情を育てる。

(2) 展開

過程	時間	主な学習内容	主な発問と予想される生徒の反応	備考
つかむ	8	1 あらすじを聞き、教材を読む。	㊦ この話は、Sくんの不注意でケガをした主人公の気持ちを描いたものです。 ㊦ まずは、「なみだ」を読みましょう。 ※朗読を聞きながら、教材を読む。	・教科書 ・デジタル教科書 ・電子黒板
とらえる	5	2 主人公の気持ちの変容を考える。	㊦ 次の3つの場面について、主人公の気持ちを心情メーターで表しましょう。また、その理由を書きましょう。 ① 指をケガしたとき ・痛い ・ショック ※マイナスが多い ② Sくんと母の訪問を受けたとき ・Sくんの母の涙を疑う ※マイナスが多い ③ 明日登校しようと思ったとき ・負けてはいけない ・心配をかけてはいけない ・指はどうなるのか不安 ※プラスが多くなる ●「心配かけない」以外の理由があることにも触れる。	・ワークシート ・心情メーター
みつける	7	3 主人公の気持ちの変容について、考えを分かち合う。	㊦ 心情メーターで表したところで挙手してください。理由を発表してください。	・掲示用心情メーター
深める	8	4 相手の立場を考えた主人公の思いを考える。	【中心発問】なぜ、心配させないようにしたのだろうか。（安心させようとしたのだろうか） ・周りを心配させるのは気の毒だから ・自分のことばかり考えていたことに気づいたから ・わざとではなく、仕方がない事故と思ったから ・楽しく過ごしたいから ・自分自身の気持ちがすっきりしないから	
広げる	20	5 主人公になりきり、相手の立場になった言動を考える。	㊦ Sくんに出会ったら、どうしますか。 ・「だいぶ良くなった」「お母さんによろしく伝えて」「気にしなくていいよ」など声をかける。 ・「痛かったよ。だけど大丈夫」などチクッと言う。 ・謝るまで話さない。よそよそしくするかも。 ㊦ 立って隣の人と演技してみましょう。 ㊦ 学級に広げたい言動はありませんか。 ●相手の立場を考えた言動は、相手や周りの心を温め、自分の気持ちにも折り合いをつけてくれることに触れる。	・電子黒板
	2	6 感想を書く。	㊦ 今日の授業の感想を書きましょう。	

(3) 評価

相手の立場を考えた主人公の思いに共感し、相手の立場を理解して広い心をもって接することのよさを考えている。（発表・ワークシート）